

国語科「現代文B」授業実践紹介

授業者：福田 浩司

学 年：3年

単元名：より深く考える力を養うことができる～『言葉を理解する』（長尾真）～

単元のねらい

- ① 「わかる」というテーマに対して、自己と他者（筆者含む）との対話を通し、考えを深めることができる。
- ② 班で出た「わかる」ということが陥りやすい「課題」と、そうならないための「解決策」などをクラスで共有することができる。

単元の流れ

- ① 個々に考えた「課題」「解決策」を班でポスターにまとめていきます。（2時間）



- ③ 『言葉を理解する』（長尾真）を読んで、筆者の意見を、個々に、そして、班でポスターにまとめていきます。（2時間）



- ② 各班のプレゼンテーションを聞いて、各班の共通点をまとめていきます。（1時間）



- ④ 各班のプレゼンテーションを聞いて、各班の共通点をまとめ、「②」でまとめたものなどとあわせて、個々に「わかる」というテーマについて意見をまとめます。（2時間）



単元のルーブリック

	2	1	0
I 関心・意欲・態度	意見を積極的に発表・表現し、生き生きと目標に取り組めた。	意見を考え、目標に取り組もうとした。	集中できず、目標に取り組めなかった。
II 読む・能力	筆者の表現を根拠に、内容を読み解けた。	文章を読み、板書内容は理解できた。	板書内容も写すことができず、内容が理解できなかった。
III 知識・理解	比喻や言葉の書き分けについて、その意味を理解できた。	比喻や言葉の書き分けがあることは理解できた。	比喻や言葉の書き分けがあることを理解できなかった。

単元を通して身につけてほしいこと

他の生徒と協力してポスターを作ったり発表したりすることにより、自分の考えをさらに深め、また、教科書の本文『言葉を理解する』から筆者の長尾真はどう考えているかを言語化することにより、教科書の読みを深めてほしいと考えています。そして、この単元での学習を通して、一つのテーマに対して、様々な視点から考えることができるようになってほしいと考えています。

実践の背景

- 読解中心の受動的なものではなく、生徒自らが主体的に「考え」「表現」する学びの機会を増やすことで、主体的に学びに向かう力を培うことを目標としてきました。
- 「表現力」をより養なっていくために、班活動などを取り入れ、また、教材をテーマに対する一つの意見として読み取らせ、対話的で深い学びの実践に取り組んでいます。

授業改善のアプローチ

- 生徒個々に関わりのあるテーマ（重要概念）を提示し、まずは、自分との対話を促し、次に、班活動などでの他の生徒との対話を通し、テーマに対する新たな気づき、学びを深めてもらいたいと考え、単元を設定しました。
- より多くの対話することで、考えを深めてもらいたいという思いから、各班によるプレゼンテーションやその共通点をまとめるといった作業を取り入れました。

単元の授業場面

単元の構成

第1次（2時間）	第2次（1時間）	第3次（2時間）	第4次（2時間）
授業者による重要概念の提示、教科書本文の文章構成の確認等のもと、生徒個々、班での「わかる」（一般論の）についての考察、ポスター作成を行う。	各班の「わかる」についての「課題」「改善策」の発表を「まとめプリント」にまとめることにより、その共通点を確認していく。	授業者により前時の共通点のまとめを行い、その後、『言葉を理解する』（長尾真）の意見を生徒個々、班でポスターにまとめていく。	各班のプレゼンテーションを聞いて、その共通点をまとめ、前時の共通点、また、関連文章をあわせて、個々に以下のパフォーマンス課題に取り組む。

パフォーマンス課題

「『わかる』とは何か」における筆者（長尾真）の考えに対し、自らの考えを、そう考える理由も含めて書くことができる。

- ① 前時でまとめた「共通点」の内容をふまえ、「おわりに」に対する意見を述べる。
- ② 原稿用紙に300字以上400字以下でまとめる。

評価（パフォーマンス課題のルーブリック）

以下の基準で、今学期の評点とした。

- ① パフォーマンス課題に対する評価（20%）
- ② 一枚ポートフォリオ等による評価（30%）
- ③ 定期考査による評価（50%）

	A	B	C
I 内容	前時でまとめた「共通点」の内容をふまえ、「おわりに」に対する意見を、そう考える理由も含めて、300字以上で、十分に述べる事ができた。	前時でまとめた「共通点」の内容をふまえ、「おわりに」に対する意見を、そう考える理由もあまり関連性はないが、300字以上で、述べる事ができた。	「共通点」、「『おわりに』に対する意見」、「そう考える理由」、「300字以上」のどれか1つでも欠けている。

一枚ポートフォリオで単元の【はじめ】と【おわり】の記述に見える生徒の変容

【はじめ】「私は『分かる』は自分が人に説明できるほど理解していることだと考える。」

【おわり】「すべてを『分かる』ことはほぼ不可能である。しかし、本質に近づこうとすることはとても大切なことであり、人間にとって必要不可欠なことである。」